

まちづくり応援補助金の 応募受付が始まります

We Love あじがさわ につながる活動を応援します！



元気で活発な地域づくりには、皆さまが主体となって取り組む活動が必要です。
まちづくり応援補助金は、町を愛し、元気で住み良い町にするために各団体が自主的に取り組む活動に対して、町が交付している補助金です。
興味のある団体は下記要項をご覧のうえお申込みください。
町ホームページからもご覧いただけます。

※この補助金制度は、令和7年度予算の範囲内で実施することが前提となっています。

申・問企画観光課 企画振興班 ☎82-0922

《 募集要項 》

- 1 対象事業** 令和7年度内に実施を予定する事業が、下記に該当すると認められる事業であること
▼『公益性』（※その事業が個人だけでなく広く社会一般のためになること）
▼『発展性』（※その事業が継続すること、または発展させる考えがあること）
- 2 対象分野** 例）農業・漁業振興、観光・商工振興、移住定住、学校教育、社会教育、芸術・文化・スポーツ、防災・防犯、福祉、子育て、環境問題など、愛する町を元気に、そして住み良い町にするための事業を対象とします
- 3 対象団体** 鱒ヶ沢町に拠点を置き、**町内で活動する団体**
(※法人格の有無は問いませんが、複数名で活動している団体であること)
- 4 補助金額** 活動内容で適当と認められた経費の**10/10以内**で、**上限額は30万円**
- 5 事業期間** 交付決定通知後（4月頃）から翌年2月末まで
(※実績報告等は年度内中の提出と事務処理を終える必要があります)
- 6 審査方法** ①事業内容が「**有益か**」と ②収支予算が「**適正か**」を、町民等で構成する町補助金審査委員会で聞き取り審査をして決定します
- 7 募集期間** 令和7年**1月6日（月）～31日（金）** [期限厳守]
- 8 提出方法** 応募書類〈公募制補助金事業計画書〉を企画観光課へ提出してください。
書類の提出は持参または郵送でも可能です。※最新の様式を使用してください。
(※様式は役場2階企画観光課窓口、もしくは町HPから取得可能です。)
- 9 今後のスケジュール**
①審査委員会の書類審査、ヒアリング実施 → ②申請者に内示金額を通知 → ③内示金額で各団体が交付申請書を町に提出 → ④町からの交付決定通知で事業開始 → ⑤翌年2月末までに事業を完了し、実績報告を町に提出 → ⑥書類が適正と認められたら入金手続きへ



★補助金応募時の注意点とポイント！ ～ 必ずご確認ください ～



- ▼応募団体及び事業関係課の事業計画の情報共有等を目的として、企画観光課が受付後、事業計画に関連する関係課に意見照会を行います。※新規に書類の提出を求めるものではありません。
- ▼備品購入が主な事業となるもの、高額な備品を購入する場合、事業計画内容（別紙1）に購入理由も記載してください。（ヒアリングで説明していただく場合があります）
また、備品を購入予定の場合、見積書もしくは見積書に代わるものを必ず添付してください。
- ▼基本的には、同一団体による同一事業は、通算3か年、までとしています。これは、新たに応募する団体を広く受け入れるため、またその事業の3年間の実績から独立的継続性を推進するためです。
なお、4か年目以降の応募も受付しますが、継続して実施していくべき事業と認められない場合は不採択になりますので、ご理解のうえ応募ください。
- ▼応募の際、なぜその事業が必要なのか ⇒ 事業実施でどうなるかといった、達成すべき目的が明確であることが大きなポイントとなります。
また、備品購入で応募される団体については、備品購入後も3年以上は事業継続する長期的なビジョンがあることが前提で、継続性が明確でない場合は対象外となります。応募の際、事業内容が詳しく書かれているとわかりやすいです。
- ▼応募の際は見積書の添付や詳細な経費内訳は必須です。また、審査で認められた経費以外に補助金を使用することはできません。
- ▼審査員のヒアリングにおいて、弁当代（スタッフ分含む）や茶菓子代などの食糧費やイベント開催に伴う傷害保険経費などの一部が補助対象外になった実例があります。応募の際、それらの経費は内容精査の上、一部を自主（自己負担）経費に計上することをご検討ください。（※全てが対象外という訳ではありません）
- ▼同事業継続で応募する団体は、ヒアリングの対象となった際に令和6年度事業の実績報告（概要）をしていただく場合があります。

～ 令和6年度（2024年度）の各団体（一部）の活動を紹介します ～

— AsoBidoa — 自助から共助に繋がる地域活性化活動

AsoBidoaは、イベントを通して町や特産品の魅力を知ってもらうとともに、地域創生に向けた結束力を育む活動を行っています。

令和6年6月2日、日本海拠点館駐車場で行われたイベント「ChillTimeあじがさわ～コーヒー&キャンプ～」は集客数2,700人を動員するイベントとなりました。

また、同年9月には、昨年に引き続き、ティラノサウルスレースを開催しました。



— 鱈ヶ沢地区町内会連絡協議会 — 鱈ヶ沢地区夏祭り（盆踊り）

鱈ヶ沢地区町内会連絡協議会は、白八幡宮大祭文化保存会、鱈花会との共催による「あじがさわ港まつり」を開催しました。

同協議会は港まつり内で鱈ヶ沢地区夏祭りとして盆踊りを行いました。当日は、町観光協会の協力によるキッチンカーや町内飲食店の出店のほか、山車の運行、鱈花会による花火打ち揚げによる相乗効果により、賑わいを見せ、無事成功に終わりました。

